

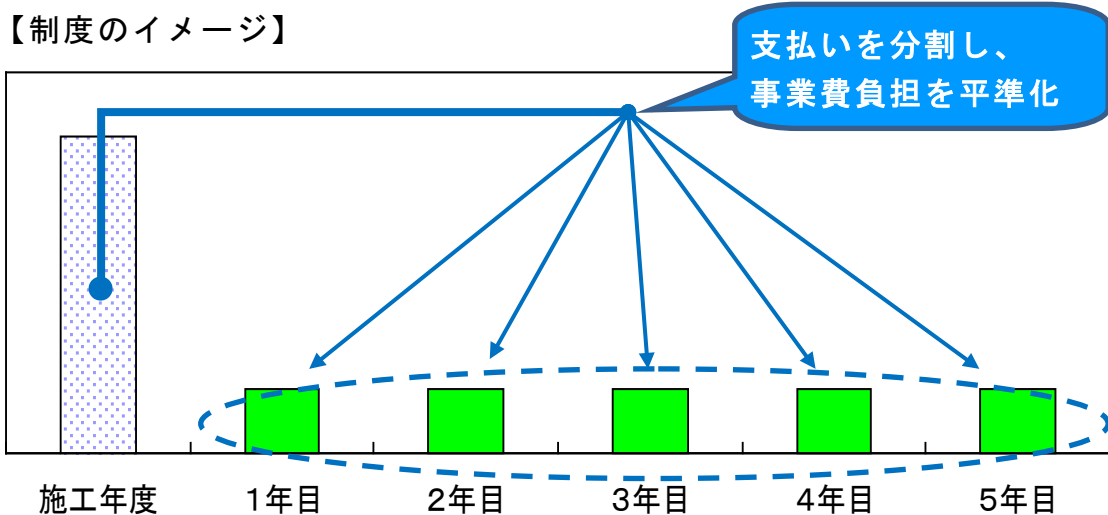
横浜環状北西線への立替施行の導入について（報告）

1 概要

横浜環状北西線事業において課題となっている事業費負担の平準化に向けて、本年 10 月に国土交通省が創設した「高速道路事業の立替施行」制度を導入するため、国等と準備を進めていきます。

2 「高速道路事業の立替施行」制度

高速道路会社が事業費の一部を立て替え、翌年度以降 5 年以内に、国からの補助金を含めて一般道路の道路管理者が高速道路会社に支払う制度です。



3 制度導入の効果

北西線は、東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指して、総力を挙げて取り組んでいます。開通の前倒しに伴い、平成 29 年度から 31 年度にかけて事業費の多くが集中するため、事業費の確保や事業費負担の平準化が必要な状況です。

補正予算等による事業費の確保に加え、立替施行制度を導入することにより、事業費負担を平準化することができます。

4 今後の取組

平成 29 年第一回市会定例会にて、制度導入に伴う債務負担行為の補正等の議案を提出する予定です。